

プライヤー

製品番号：100-〇〇〇

1. 一般的なお手入れについて

プライヤーは使用頻度に応じて摩耗・損傷します。製品寿命を延ばすため、適切なメンテナンスを行ってください。

- ・ 基本サイクル：使用後は速やかに「洗浄・潤滑・滅菌」を行ってください。
- ・ 保管：滅菌後は、清潔で乾燥した場所に保管してください。
- ・ 潤滑：週に一度、可動部（ヒンジ）にシリコン潤滑剤を塗布してください。
- ・ 定期点検：以下の点に注意し、摩耗や変色がないか定期的に確認してください。
 - ✓ ヒンジの動きはスムーズか
 - ✓ 先端の特殊鋼（インサートチップ）に損傷はないか
 - ✓ 腐食（サビ等）の兆候はないか

2. プライヤーの洗浄について（滅菌前）

洗浄時にプライヤーを分解する必要はありません。洗浄の際、水道水ですすぐことは避けてください。滅菌前には必ず洗浄を行ってください。

【使用禁止の洗浄剤】以下の成分を含む洗浄剤は、製品の劣化や化学バランスの崩れを招くため、使用しないでください。

- ・ 石鹼および石鹼水
- ・ ヨードフォア（ヨウ素系）
- ・ 軟水（水道水の添加剤が薬液の化学バランスを変化させる恐れがあります）
- ・ 酵素洗浄液
- ・ 酸性または強アルカリ性の洗浄液
- ・ リン酸塩を含む洗浄液

3. 洗浄の手順

- ① 洗浄：超音波洗浄機、またはすすぎ不要の生分解洗浄液を使用します。超音波洗浄液は中性で防錆剤およびラノリン潤滑剤配合のものが適しています。
- ② 洗浄時間：小型超音波洗浄機で5分、大型で12分が目安です。
- ③ 注意：洗浄後に水道水ですすぎないでください。水道水に含まれるミネラル成分は、ステンレススチール製プライヤーの錆の原因となります。
- ④ 乾燥：自然乾燥させるか、清潔なタオル等で水分を完全に拭き取ってください。特に可動部は水分が残りやすいため、エアコンプレッサーによる乾燥が効果的です。



4. 滅菌について

本製品は、乾熱滅菌を推奨しています。

非推奨：オートクレーブ（蒸気滅菌）やケムクレーブ（化学滅菌）は、錆・窪み・亀裂・腐食の原因となるため、お勧めしておりません。

例外：製品番号「100-192J」については、別途添付文書の滅菌方法をご確認ください。

- 乾熱滅菌

特に先端にチップが接合されているタイプは、蒸気や圧力、薬品に弱いため、乾熱滅菌が最適です。

- ・ 滅菌機取扱説明書に従って操作してください。
- ・ 滅菌前に汚れを完全に除去してください。異物が残った状態で滅菌すると、表面が茶色く変色する原因となります。

- 浸漬消毒／滅菌

薬剤（2%グルタルアルデヒド等）は製品により配合が異なり、防錆効果に差が出ます。必ず「防錆剤配合」かつ「炭素鋼に使用可能」な製品を選んでください。

- ・ 推奨薬剤：フェノールを含まない「プロシード 28（アルカリ性グルタルアルデド）」
- ・ 使用禁止：フェノール配合グルタルアルデヒド、ヨードフォア、二酸化塩素化合物、次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）、過酸化水素、および水道水

5. 研磨・修理・保証について

- ・ 研磨・修理：現在、研磨および修理サービスは承っておりません。
- ・ 保証期間：ご購入日から1年間です。
- ・ 保証内容：通常の使用範囲内で破損が生じた場合、新品と交換いたします（誤用・転用による破損は除く）。返品・交換のご依頼は、カスタマーサポートまでご連絡ください。

